

ライトピンク



淫魔の宴5

成人向









まさか  
本物のポップに  
会えるなんて...

.....

のびのび

さー

さー

!!

さー



あぐっ！

おお…

おお…  
あ…

ス・テ・キ

なまなま…

ぐりぐり…

んんん





お前は一体……？

彼女はね、失敗というか、成功しすぎたというべきか……

私たちは元々アマムのコピーなので正義の心を持っていたの

それを暗黒闘気を使って魔王軍に忠誠を誓うように調整したの

でも彼女の正義の心はその暗黒闘気ですら上回る程だったのよ

それで実験を兼ねて暗黒闘気を操るシャドーに乗り移ってもらったのよ

シャドーに乗り移されたのだと？

結果は見ての通り成功だね、魔王軍に忠誠を誓うようになったわ、

もっとも乗り移ったと言ってもシャドーも彼女の光の闘気を抑えるのが精一杯で意識や性格は完全に彼女のままよ

しかも彼女、あなたの事を大好きらしいの

御託はいいわさつそく楽しみましょうポツプ





ううう...

うう

はっ

はっ

はっ



あ、そうそう  
いい忘れたけど、  
暗黒マアム  
私より淫乱だから

え？

な



シヤドーの副作用なのか、  
元々が  
そうだったのか...

とにかく  
信じられないほど  
淫乱でね...

ほとんど  
一日中自分で  
慰めているか

私たちが  
相手になつて  
慰るかしない  
ならない程なのよ...





あまりに体が火照ると

ええ...

おあつ...

一日中?

ビク

ビク

ひん  
ひん



モンスターに身を任せたくらいよ

オスのモンスター達を相手にするのはもう恥ずかしいほどにね





経験のない  
初心者なんて...

おあ...  
あああああ



モンスターに  
何だって?

だから  
彼女の舌先は凄いわよ  
私たちがだつて  
5分と持たずに  
いかされちゃうんだから

...おあ  
ああ



ホント...  
凄いわ...

おああ...

やめろ!

やめて  
くれ



はひ...

はっはっ...





まるで  
精液を吸い尽くす  
機械ね

すげー…

無理しないで  
もういっっちゃえば？



お…わ…







お・お・  
お・お・  
お・お・お・  
お・お・お・

ちゅるる

ちゅるる



ちゅるる



うわ……  
そこまで  
するんだ……

ちゅるる

はあ  
はあ

ちゅるる  
ちゅるる





ああ...



ふふ...いいわあ〜  
本物のポップの  
チンポ:

さてと...  
じゃあ次はいよいよ  
私の下の口に  
御馳走してもらおうかしら?

あら?  
でも今のあなたの舌技で  
彼すでに息も絶え絶えよ?

そんなの  
もちろん大丈夫よ



見てなさい

おっ...

おっ...



いかが？

び。

さすがは  
魔王軍の淫乱兵器  
って感じね

ふふ  
それじゃ  
いただくわね

本物の…  
ポップの肉体を  
味わえるなんて…  
素敵だわ

大丈夫よポップ…  
約束するわ

の



やめ…

すぐに  
何も考えられないほどの  
天国にイカせてあげる…



ふふ…  
これがポップの…

どう？  
彼のモノは？

想像通り…  
いえ、それ以上に  
素敵だわ

さあ  
約束通り  
天国にイカせて  
あげるわね？  
ポップ



おっ  
おっ  
おっ

おほ  
おほ

もう私を  
感じてくれて  
いるのね？

嬉しいわ  
ポップ



ほら  
見てごらんなさい

あなたの  
仲間だって同じよ

ダイ?!

そう  
ダイはこの洞窟の  
別の場所で

あなたと同じように  
快感の海に  
浸っているわ

あなたの推測は  
当たっていったって訳  
満足した?

ダイ…

彼はもう  
女の肉体に  
溺れているわ

さあ  
あなたも気持ちよく  
なつていいのよ?

ふふっ  
気持ちいいでしょ?  
我慢なんて  
する必要ないのよ?

ダイ…  
ちくしょう…

おほうっ!









はあくく…  
いいわあ…  
ポツプ…

どきどき…

気持ちよかったでしょ？  
ポツプ

くっ！

私の中に  
ポツプが  
流れ込んでくる…

んんん…

まっ

…でも、もちろん  
これで終わり  
じゃないのよ？

!?

ビクッ  
ビクッ



なんだこれは？

んぐ

ふふ：  
生き物みたいに  
ヌルヌル動いて  
気持ちいいでしょ？

そして…  
これが…

ふふ  
ポップに  
喜んでもらおうと  
思っ『巾着締め』  
っっていうのを  
練習していたのよ

ほくら  
もう固く  
なってきた…

おわっ？  
何だこれは…？

無駄にならなくて  
良かったわ

さあ  
もう一度  
気持ちよくしてあげるわね  
ポップ

巾着締め？

ぬん

おあ…



諦めが悪いわね、  
気持ちいいんでしょ？  
いい加減に快感に  
体を委ねなさい

そして  
魔王軍に入れば  
楽になるわよ

だから  
魔王軍になんて……

私は彼と  
セックスさえ  
していればいいわ

目が覚めれば  
セックスをして……

ふふ  
私は別に  
魔王軍に入れなんて  
言わないわよ？

え？

疲れれば  
回復してあげて

一日中彼と  
繋がっていいのば  
それでいいのば

……まいいか  
それでも彼が  
無力化するのば  
同じだし……

そういう訳だから  
あなたはもう  
魔王軍に入らなくても  
いいみたいよ

ここで黒マアム  
の相手をして  
快感に浸っていて  
いいのよ  
気が楽になったでしょ？

ううっ



ふふ  
そうそう  
だから遠慮なく  
たつくさん出してね  
ポップ♥

馬鹿…野郎…

そんな事  
したら…

そう  
だからポップには  
私たちの中  
でタップリと生出しを  
してもらわないとね♥

そうよ  
妊娠するのが  
目的ですもの

なにっ？

魔王軍の研究目的の一つよ  
私たちがコピー人間と  
人間の交尾によって  
生まれる子供が  
どういう子供が生まれるか…

そう  
交尾よ交尾、  
サルや犬みたいに  
散々交尾し  
て女の中に精液を  
ドピユドピユ出すのよ

あなたは別に  
魔王軍に  
入らなくても良いけど  
私たちは研究材料ですからね

ま  
もっとも私は  
セックス自体が  
大好きなんだけどね

くっ





さあ  
わかったでしょう？

それじゃ  
改めて…

私の中に  
タップリと  
出してね

一日中  
淫乱なママムと  
ハメ放題…

ぬふ…

う・おおお

ふふ  
何回でも  
私の中に出して

いくらでも  
気持ちよく  
搾り取って  
あげるから

あ・あああ

こういう生活を  
したかったん  
でしょ？



あんっ



さあ ポップ♪  
これから  
もっともっと  
楽しみましょうね

一日に何回  
できるかしら ♡



ダイ……  
すまねえ……



お前を救出に  
きたくせに  
このザマだ



もう……俺は  
この快樂地獄から  
逃げられねえ……

ふふ……  
硬いわポップ ♡  
もつと気持ちよく  
してあげるわ ♡





あ探気い  
けりま  
るん  
■ おくづけ ■

作品名	淫魔の宴5
巻数	027
発行	ライトピンク
連絡先	<a href="http://www.r-pink.jp/">http://www.r-pink.jp/</a>
協力	青空市場 ( <a href="http://www.aozora7.com/">http://www.aozora7.com/</a> )
発行日	A. D. 2013年8月11日
原案	加山 一角
作画	尚 たかみ
印刷	日光企画





あはっ...どう?  
今日で3日目  
だけど...

もう  
百回くらいは  
イッた?

18  
禁  
禁

成人向